

夏から秋にかけて「一発大波」に注意!

～海岸での人身事故防止のために～

「一発大波」とは、うねりを伴った波が、100回から1,000回に一度、通常想定の最大2倍の高波が出現して海岸に打ち寄せる現象で、「土用波」、「三角波」や「フリークウェーブ」と呼ぶこともあります。

夏から秋にかけて、太平洋に面した銚子や勝浦等の千葉県外房の海岸線は、洋上の台風から伝わるうねり等により「一発大波」が出現しやすい地域です。

特に、河川の河口付近は、長周期のうねりが向かっている場合に、河川流の影響を受け、大きな磯波が発生するので、注意が必要です。

また、高い波が海岸に打ち寄せる場合は、寄せた波が沖に戻る引き波も、さらに強くなることが知られています。

例えば、腰の高さ(約80cm)の波が打ち寄せている海岸でも「一発大波」が襲った場合、あっという間に波に巻き込まれて沖まで流される恐れがあるので、注意しましょう。

百～千回に一度
通常の高さの2倍の高さ



強い引き波

A red arrow pointing from the high wave towards the person icon, labeled '強い引き波' (Strong backwash).